



# (第4期) 第13回まつもと子ども未来委員会の報告

平成31年1月9日

第4期の第13回まつもと子ども未来委員会は、平成30年12月9日(日)あがたの森文化会館で行いました。この日は、32人の委員のうち17の委員が出席し、進行は副委員長が行いました。

## 1 提言のふり返り

11月25日(日)に行った提言について、準備や発表本番のことについて、良くできたこと、直した方がいいことなどのふり返りを行いました。

		活動紹介グループ	ごみ問題グループ	交通ルールグループ
準 備	良かったこと			<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで協力できた。</li> </ul>
	直すべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>大人と同じような意見ばかりだったので、もう少し子どもらしい意見を出せれば良かった。</li> <li>準備の日程が短かった。</li> <li>本番前にもっと調整したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原稿作りを1人に任せきりにしてしまった。</li> <li>【改善策】</li> <li>全員が責任感を持つようにする。</li> <li>打合せや練習、下調べはもっと余裕をもってやりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練習が足りなかった。</li> <li>原稿を作るのが遅かった。</li> <li>【改善策】</li> <li>余裕をもって行動する。</li> </ul>
本 番	良かったこと			<ul style="list-style-type: none"> <li>分かりやすくてできた。</li> <li>1人1つは発表分担があったのが良い。</li> </ul>
	直すべきこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>言いまちがいがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>はきはき、ゆっくり、伝わりやすく言うことができなかった。</li> <li>発表までの準備不足が目立った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>声が小さく、早口だったので、マイクがあっても伝わりにくかった。</li> <li>原稿ばかり見ていた。</li> <li>漢字の読み間違いがあった。</li> </ul>

	活動紹介グループ	ごみ問題グループ	交通ルールグループ
市からのコメントを受けて思ったこと	<p>【ごみ問題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光客だけではなく、松本市民も「クリーン・シティ」だと思えるようなまちにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コメントの中には、自分が知らなかったこと、気付かなかったことがたくさんあった。市や大人の考えをもっと理解するために勉強したい。</li> </ul>	<p>【ごみ問題について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園のごみ箱をなくし、ごみを自分で分別できるまちになってほしい。</li> <li>外から来た人だけでなく、誰が見てもきれいなまちにしたい。</li> <li>「市民がきれいに行っている」ことが大切だと思った。</li> </ul> <p>【交通ルールについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看板ではなく別の方法で交通ルールを外国人に伝えるようにしたい。</li> </ul>

## 2 松本市子どもにやさしいまちづくり委員会との意見交換

次に、松本市子どもの権利に関する条例に基づいて、松本市を「すべての子どもにやさしいまち」にするための計画「松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」について、「松本市子どもにやさしいまちづくり委員会（まちづくり委員会）」11名と意見交換をしました。

※ 松本市子どもにやさしいまちづくり委員会・・・「松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」がきちんと取り組まれているかチェックしたり、子どもに関する取組みについて考えたりしている委員会。市民や「子どもの権利」に詳しい人、子どもに関わる人などが委員になっている。

### (1) 「松本市子どもにやさしいまちづくり委員会」会長あいさつ

まず、委員会の会長からごあいさつがありました。

#### 会長あいさつ

「子どもにやさしいまちづくり推進計画」は、子どものための計画です。この計画について、これまでは大人だけで考えてきましたが、今回は、子どもの意見を取り入れるために、まつもと子ども未来委員会の皆さんと話し合う場を作りました。

今日の話合いでは、「良い子」でなくてかまいません。子どもにやさしいまちづくり委員会は、子どもたちのどんな意見でも受け止めますので、「未来」のことだけではなく「今」のことも、率直な意見を聞かせてください。未来委員会の皆さんからの意見は、必ず検討して活かせるところは活かします。

「すべての子どもにやさしいまち」のために、みなさんの知恵と力を借りたいと思います。

(2) まつもと子ども未来委員会活動紹介

話合いの前に、まちづくり委員会のみなさんに、未来委員会が、いつもどんな活動をしているか知ってもらうため、活動紹介をしました。



(3) 「松本市子どもにやさしいまちづくり推進計画」について

計画では、子どもの権利に基づき様々な取組みをしていますが、特に大切にしている4つの取組みについて、どんな取組みか、どんな課題があるのか、まちづくり委員会のみなさんから教えてもらいました。

取組み	内容（一部）	課題など（一部）
①子どもの権利を広めること	学習パンフレット「あかるい未来」を作ること	条例や「こころの鈴」を知っている人が少ないこと
②子どもの相談を受けること	子どもの権利相談室「こころの鈴」を運営すること	他の相談機関（相談室）とつながること
③子どもの意見表明・参加を進めること	まつもと子ども未来委員会を開催すること	学校や地域で、もっと子どもの意見をきいてもらうこと
④子どもの居場所をつくること	児童館や児童センターを運営すること	施設を整えることや対応する職員の確保

(4) 意見交換

4つのグループに分かれて、(3)の①から④の取組みについて、どれくらい知っているか、どう思っているか、どうしたらもっと良くなるかを話し合い、グループごとに発表しました。

みんなからの意見（一部）

- ① 子どもの権利を広めること
  - ・ チラシなどに漫画が使っていると、読みたくなる。
  - ・ 一方的に知らされるだけだとつまらない。条例について話し合う場があると良い。
- ② 子どもの相談を受けること
  - ・ 電話や面談だけでなく、手紙でも相談してみたい。
  - ・ SNS などを使うと、若い人の目にもとまる。
- ③ 子どもの意見表明・参加を進めること
  - ・ まずは未来委員会の活動をもっと多くの人に知ってもらいたい。
  - ・ 未来委員会のようなものを広げる（増やす）。
- ④ 子どもの居場所をつくること
  - ・ 公園は、周りに家があるので、できるスポーツが限られている。
  - ・ 公園の中でも、スポーツ専用と遊ぶ専用のスペースを分ければ良い。



(5) まとめ

最後に、まちづくり委員会の会長からまとめのお話がありました。

まとめのお話

最初にお話したように、未来委員会のみなさんからの意見は、必ず<sup>けんとう</sup>検討して、その結果を伝えるようにします。

話合いの中で、大人と子どもでは考え方にちがいがあるという意見がありました。ちがいがあるからこそコミュニケーションや<sup>ぎろん</sup>議論が出てくると思うので、もっと様々なかたちで、子どもの現状や意見をふまえ、次期計画づくりを進めたいと思います。

次回の委員会は1月20日（日）にあがたの森文化会館で行います。